

西彼保健所感染症情報

令和7年 第 49 週 令和7年12月1日 ～ 令和7年12月7日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	報告なし

定点把握の対象となる5類感染症発生状況 (定点医療機関当たり患者数) ↑;前週より増加 ↑↑;2週連続増加 ↑↑↑;急増

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意 報レベ ル				警報レベル		注意 報レベ ル
	48 週	49 週	開始	終息			48 週	49 週	開始	終息	
インフルエンザ定点	29.4 注意報	32.6 警報	30	10	10	突発性発しん	0.67 ↑	0.00			
COVID-19	1.60 ↑	1.20				ヘルパンギーナ	0.00	0.00	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	96.4	103.6 ↑				流行性耳下腺炎	0.33 ↑	0.00	6	2	3
R Sウイルス感染症	0.00	0.00				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	0.33 ↑	0.33	3	1		流行性角結膜炎	0.00	1.00 ↑	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.33	3.33	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	4.67	3.00	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	0.00	0.67 ↑	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	1.00 ↑	1.00			
手足口病	2.00 ↑	0.67	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	2.00 警報	1.00 警報	2	1		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

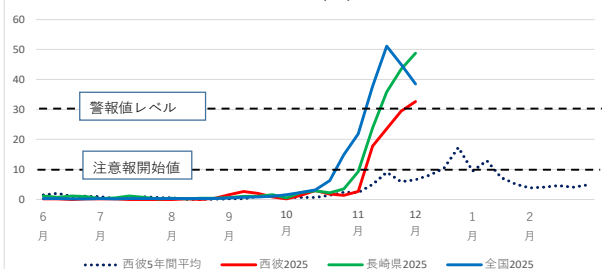
インフルエンザに注意しましょう

管内における報告数が「30」を超え、警報レベルとなっています。
可能な限りマスクを着用することを推奨します。マスクは鼻と口にしっかりフィットさせた状態で着用しましょう。
人は無意識に顔を触ることが多く、気づかないうちに鼻や口などの粘膜にウイルスをつけてしまいます。手洗いを徹底しましょう。手洗いがすぐにできない場合は、アルコールを使った手指消毒も効果的です。日頃からバランスの良い食事や十分な休養をとり、体調を整えることも大切です。
換気は1時間に2回以上が効果的です。必ずしも窓を開けての換気が必要なわけではありません。換気扇などの機械設備を活用し、効果的な換気を心がけましょう。

マイコプラズマ感染症に注意しましょう

管内の一部の学校でマイコプラズマ感染症の発生が確認されています。
「肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ ニューモニエ)」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症で、秋冬に増加する傾向があり、再感染もよくみられます。
主な症状は発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、せきなどの症状がみられます。せきは熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。潜伏期間は長く、2～3週間くらいとされています。
普段から流水と石けんによる手洗いをすることが大切です。また、感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避けましょう。せきの症状がある場合には、マスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることを心がけましょう。

インフルエンザ発生動向 定点医療機関あたりの報告数(週)



※マイコプラズマ肺炎は基幹定点(患者を300人以上収容する施設を有する病院であって内科及び外科を標榜する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)を2次医療圏域毎に1カ所以上、基幹定点として指定)報告のため、実質的な報告数より少ない場合があります。